

(第3種郵便物認可)

# 自由な発想で絵や造形

## 上松で木曾郡高校生美術展



木曾の風景を描いた絵画や造形作品が並ぶ会場＝上松町の木曾路美術館で

絵画や造形作品など、高校生らしい自由な発想が楽しめる「木曾郡高校生美術展」が五日、上松町の木曾路美術館で始まった。十日まで。入場無料。生徒同士で作品を披露し合い、地元の人にも見てもらおうと、毎年開催している。

九回目は木曾青峰高校(木曾町福島)と木曾養護学校(同)蘇南高校(南木曾町読書)の美術部員を中心に、三十三人が計五十点余を出品した。会場には、人物や風景を描いた大小さまざまな絵が飾られているほか、今にも羽ばたきそうなほど大きく翼を開いた鳥の造形、南木曾町特産の田立和紙を貼ったランプシェードなどが並んでいる。木曾青峰高二年で美術部長の向井輝さん(さ)は、木曾町福島地区で毎年冬に実施される恒例の「雪灯りの散歩路」をアクリル画で描いた。

氷の器に入ったロウソクの明かりが夜闇に浮かぶ様子を忠実に再現し「去年参加した時の写真を見ながら描いた。見た人が温かい気持ちになれればうれし」と語った。

会場を訪れた大桑村の四十代の主婦は、長ばかり。いろいろなテームがあり、見ている飽きない」と笑顔で話した。(前田寛季)